赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

LauraQuattro

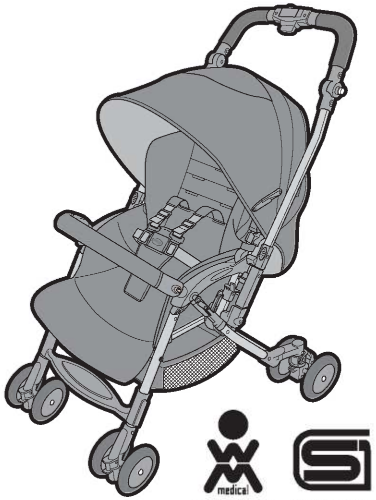
（ラウラクワトロ）

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は生後1カ月～36カ月まで、体重15kg以下の乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生児の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいう。



特許 第1438822号　SG安全基準A形

ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。

また、お読みになった後は、**本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。**

もくじ

はじめに …… 1
ご使用前に …… 1
SG基準について …… 1
本書の表示について …… 1
ご使用上の注意 …… 2
　警　告 …… 2
　注　意 …… 4
　禁　止 …… 4
製品を取り出した時に …… 5
　製品の特徴 …… 5
各部の名称 …… 6
ベビーカーの使用方法 …… 7
ベビーカーの開き方 …… 7
キャスター …… 8
ストッパー …… 8
お子さまの乗せ方 …… 9
肩ベルトの高さ調節 …… 11
リクライニングの角度調節 …… 12
ハンドルの切替え方 …… 13
ハンドルの角度調節 …… 13
パッドの取り付け方 …… 14
日除けの使い方 …… 15
ベンチレーションの使い方 …… 16
カゴの使い方 …… 16
ショルダーストラップの使い方 …… 16
ベビーカーの折りたたみ方 …… 17
縫製品のお手入れ …… 19
フロントガードカバーの取り外し方 …… 19
カゴの取り外し方 …… 19
日除けの取り外し方 …… 20
縫製品の取り外し方 …… 21
日常のお手入れ …… 23
困った時に …… 24
保証とアフターサービスについて …… 25
　アフターサービスについての連絡先 …… 25
保管のしかた …… 25
廃棄方法 …… 25
SGマーク制度について …… 26
保証書 …… 裏表紙

はじめに

ご使用前に

赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。
特に新生児期を過ぎて首が座るまでの赤ちゃんは未熟です。

赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。
①常に赤ちゃんの**様子に気を付け、連続使用は避けましょう。**
②赤ちゃんに**直射日光が当たらないように注意**しましょう。大人が感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
③騒音や浮遊粉塵の多い人込みは避けましょう。
④段差の通過は出来るだけ静かに、**振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。**

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。
（この製品は、SG安全基準A形合格品です。）

適用範囲	この乳母車は、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用の乳母車です。
形式の分類	**A形** 生後1カ月* を過ぎまだ首が座らない乳児から寝かせた姿勢で使用できる乳母車。
使用範囲	生後1カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢：2時間以内　座らせた姿勢：1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上

* ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生児の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいう。

本書の表示について

・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
⊘禁止	絶対してはいけない内容です。

ご使用上の注意

・お子さまの保護者以外は操作しないでください。
・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠警告	・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

必ず肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを締めて使用すること。

腰ベルトや肩ベルトはお子さまの体格に合わせて調節すること。
腰ベルトや肩ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。

ベビーカーの中でお子さまを立たせない。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒し、お子さまがけがをするおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。

お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。（構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。）

お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れない。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

二人のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒する危険があります。

お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げない。

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

⚠警告　・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

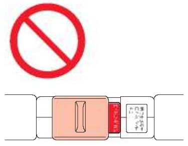
ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけない。

階段やエスカレーターなど段差のあるところで使用しない。

ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

お子さまを乗せる前に左右の開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



必ずセーフティロックをかけた上で使用する。

お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、お子さまの体格に合わせて調節してください。

路面の影響により、ベビーカー内の温度が高くなり、お子さまが体調を損なうおそれがあります。

夏季などの晴天日中は、長時間の使用は避ける。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

お子さまが触れた状態ではベビーカーを開閉しない。

ハンドルを切替える時。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

フロントガードを取り付ける時。

ベビーカーが破損し、お子さまやご使用者さまがけがをするおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。

⚠注意　・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

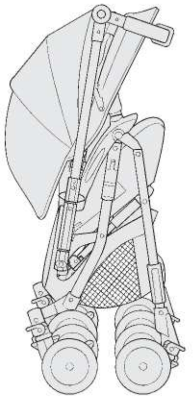
- 取扱説明書を読まれていない方や、お子さまが操作された場合に思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- 2台のベビーカーを連結して使用しない。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- お子さまにベビーカーを操作させない。
- ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- 路面の状態、構造・機能上、耐久性などから、ストッパーを過信しない。構造上、自動車のパーキングブレーキのような安全なものではありません。
- フロントガードに股ベルトを通しての使用はしない。股ベルトがやぶれる原因になります。
- ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。可動部や回転部に砂などが入り開閉できなくなります。
- フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
- お子さまの乗せ降ろしの際は、ベビーカーが転倒しないよう十分ご注意ください。
- 踏切では、線路に車輪がとられないように注意する。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- 電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、ケガをするおそれがあります。
- 雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ハンドルを『背面から対面』、『対面から背面』へ切替えた際は、ハンドルロックがサポートピンに確実に掛かっていることを確認してください。
- そのほか、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

⊘禁止　・絶対してはいけない内容です。

- 弊社サービス員以外の分解・組立・改造。
- シートをはずした状態での使用。
- アームレスト、フロントガードに荷物を載せての使用。
- 保護者が、アームレストやフロントガードに腰を掛けること。
- 急激に力を加えたり、落下させた後の使用。
- ネジやナットなどをはずしての使用。
- 荷物などの運搬のための使用。
- お子さまの遊び道具としての使用。
- そのほか、お子さまを乗せる以外の目的での使用。

製品を取り出した時に

・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
・欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
（P25参照）



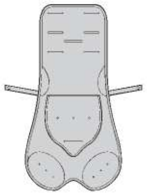
〈付属品〉

ショルダーストラップ

取扱説明書（本書）

・ベビーカーを開く時はP7を参照してください。

気道閉塞
マモールパッド
〈別梱包〉



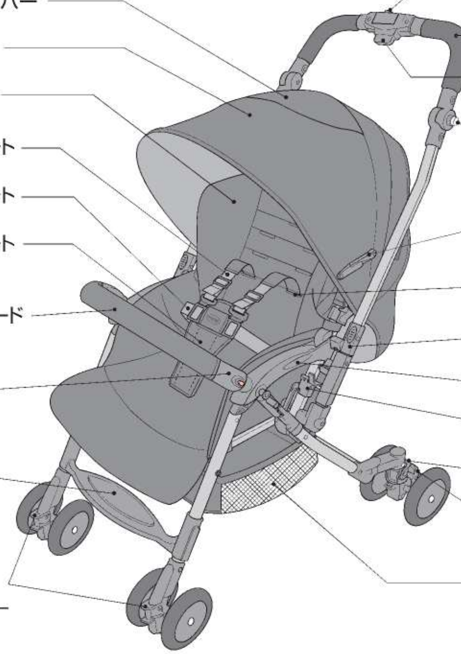
脊椎（せきつい）マモール発育シート
〈別梱包〉

日除け

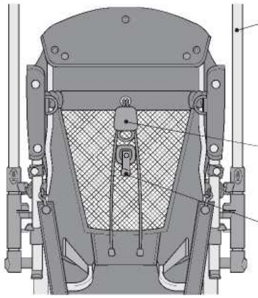
製品の特徴

・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。
・前後折りたたみ方式です。
・前輪、後輪キャスター付です。
・ハンドルは背面、対面式です。
・車体を折りたたんだ状態で自立します。

各部の名称



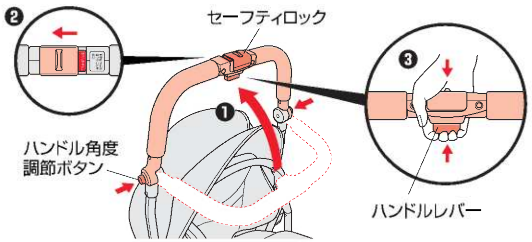
〈背もたれ背面〉



ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方

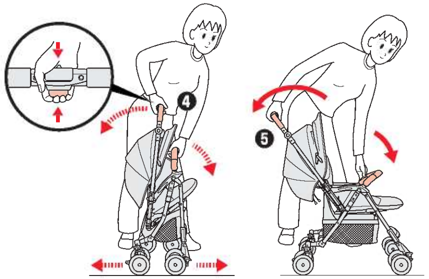
⚠警告　・お子さまが触れた状態ではベビーカーを開閉しない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。



❶両手で角度調節ボタンを押し込み、ハンドルを起こす。
❷セーフティロックを解除する。
❸ハンドルを軽く下に押し付けながらハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除する。

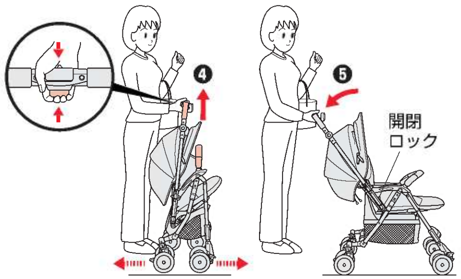
両手で開く時

❹ハンドルレバーを握ったまま、もう一方の手でフロントガードを持つ。❺ベビーカーを開く。

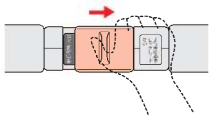


片手で開く時

❹ハンドルレバーを握ったまま、車輪が地面より離れるまで持ち上げる。❺ベビーカーを開く。



❻セーフティロックをかける。



〈お願い〉
・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。

⚠警告
・開閉ロックが完全にかからない時やセーフティロックがかからない時はもう一度、❷から操作を行ってください。
・使用する前に開閉ロックがかかっていることを必ず確認する。急に折りたたまれるおそれがあります。

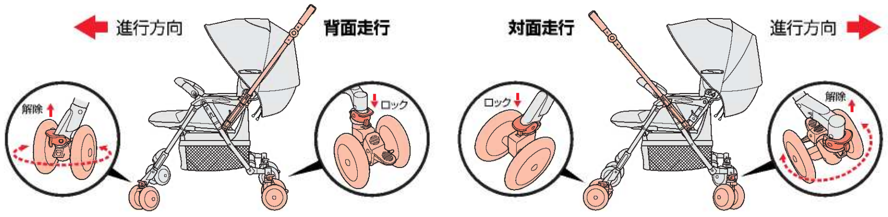
キャスター

⚠警告　・凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行には、キャスターを左右共ロックする。
キャスターの向きにより車輪が回転せず、ベビーカーが転倒したり、お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

⚠注意　・進行方向側で車輪をロックしないでください。

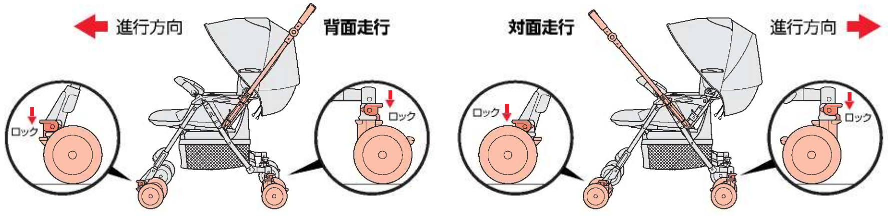
〈平坦な道路での走行時〉

●進行方向の前輪キャスターを左右共解除し、後輪キャスターを左右共ロックします。
前側の車輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。



〈凸凹道・坂道・傾斜地など〉

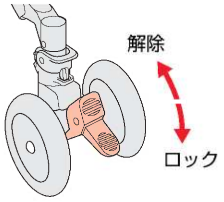
●前輪、後輪キャスターを左右共ロックします。



・対面と背面では車輪位置が違います。ご注意ください。（ハンドルの切替え方 P13参照）

ストッパー

⚠警告　・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。
構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。



●お子さまを乗せていない時に、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックします。
（お子さまを乗せている時はベビーカーから離れないでください。）

お子さまの乗せ方

⚠注意
・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

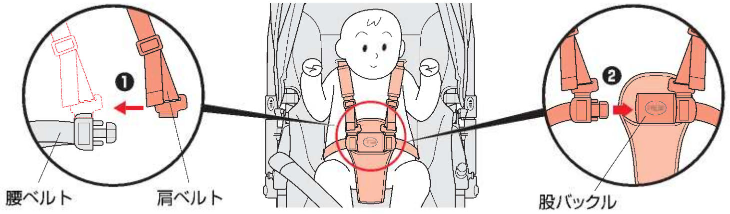
準 備

❶ストッパーをロックする。（左右）
❷フロントガードを開く。
　・内外のロックボタンを押して開く。
❸足のせを引き出す。
　・左右のバーを手前に引き出す。
（座席の延長として足のせを使う場合のみ）
❹肩・腰ベルトを外す。
　・股ベルトの「PRESS」部を押して
　　腰ベルト・肩ベルトを外す。

（リクライニングの角度調節 P12参照）

乗せ方

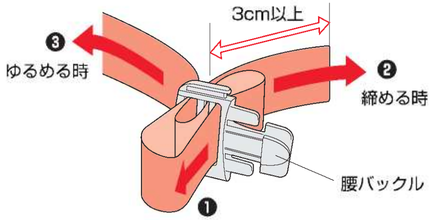
〈肩・腰ベルトをとめる〉

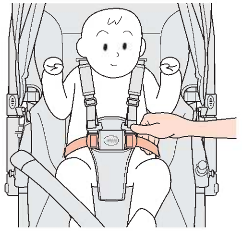


❶肩ベルトを腰ベルトに差し込む。❷腰ベルトを股バックルに差し込む。

⚠警告
・肩ベルトをフリーにさせない。肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用してください。
肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。

〈腰ベルトの調節〉





❶調節する分の長さを引き出し、締める時は❷の方向に引く。ゆるめる時は❸の方向に引く。

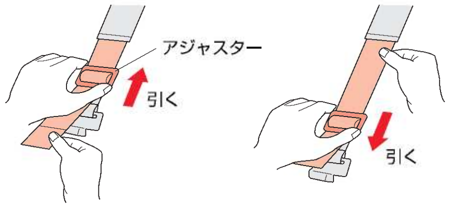
●腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

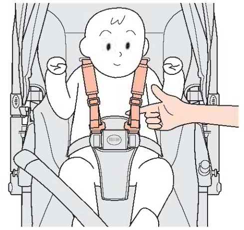
⚠警告
・腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。
腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。

⚠注意
・腰ベルトの末端の出しろ（⇔部分）は必ず3cm以上残す。
・腰バックルは取り外しできません。

〈肩ベルトの調節〉

〈締める時〉　〈ゆるめる時〉





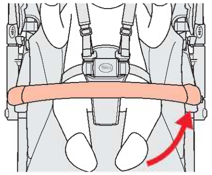
●アジャスターを引き調節する。

●肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締める。

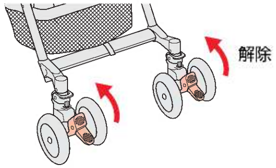
⚠警告
・肩ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。
肩ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。

⚠注意
・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルトを調節してください。
・肩ベルトは取り外しできません。

〈フロントガードを閉じる〉



〈ストッパーを解除する〉



⚠警告
・お子さまの指をつめないよう注意してください。

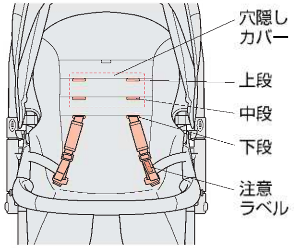
⚠注意
・フロントガードを引っ張り、ロックされているか確認する。

肩ベルトの高さ調節

⚠注意　・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。

〈肩ベルト位置の目安〉



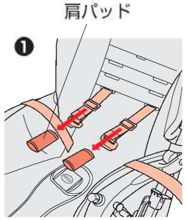
・肩ベルトの位置は3段階に調節できます。

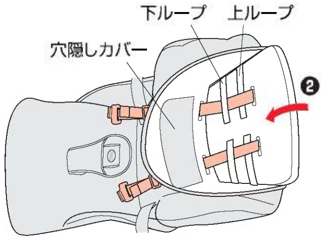
月齢（体格）の目安	肩ベルト通し穴の位置
18カ月～36カ月	上　段
7カ月～18カ月	中　段
1カ月～7カ月	下　段

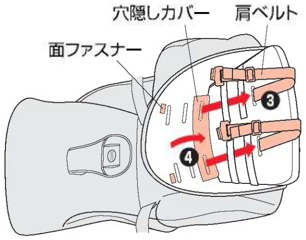
アドバイス
- ハンドルを対面に切り替えて行ってください。（P13参照）
- 日除けの角度を調節して行ってください。（P15参照）
- 肩ベルトは注意ラベル側を表にして使用してください。
- 肩ベルトがねじれていないか確認してください。

中・上段を使用する時

❶肩・腰ベルトを外し、（P9参照）肩パッドを抜く。
❷背面ホックを外しシートをめくる。
❸肩ベルトをシート内側へ引き抜く。
❹穴隠しカバーの面ファスナーを外し、おろす。

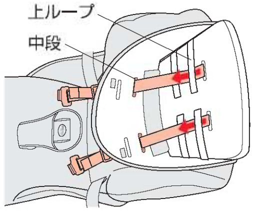




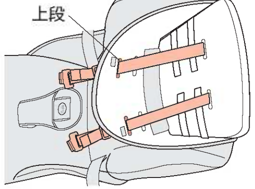


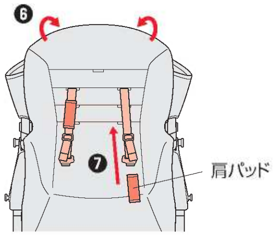
❺-①中段を使用する時は、上ループに通し、シート穴（中段）に通す。
❺-②上段を使用する時は、そのままシート穴（上段）に通す。
❻ホックをとめる。
❼肩パッドを差し込む。

❺-①〈中段を使用する時〉



❺-②〈上段を使用する時〉





下段を使用する時

・穴隠しカバーを上げて、面ファスナーでとめる。
・肩ベルトを下ループに通し、シート穴（下段）に通す。

リクライニングの角度調節

⚠警告
・お子さまを乗せたままリクライニングを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングの調節後は、肩・腰ベルトの長さを調節する。

⚠注意
・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
・お子さまを乗せたままリクライニング調節する時は、急に角度が変わらないよう注意する。
・お子さまを乗せたままリクライニングを倒す時は、お子さまの体重を支える。
・お座りができないお子さまは、リクライニングを倒して使用する。

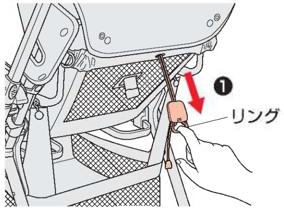
月齢（体格）の目安	リクライニングの位置
1カ月～首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態～中間位置
ひとり座りできてから	一番倒した状態～一番起こした状態

倒す時

・お子さまを乗せた状態でリクライニングを倒す時は、肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングを調節する時は、お子さまの体を支える。

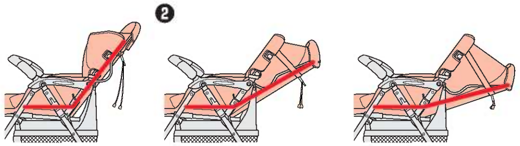
❶リクライニングリングを引く。

・片方の手でお子さまを支えてリングを引く。



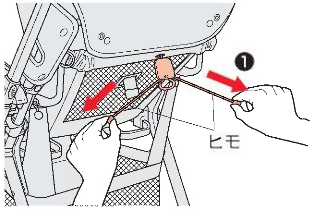
❷背もたれを倒す。

・リングを引きながら調節する。

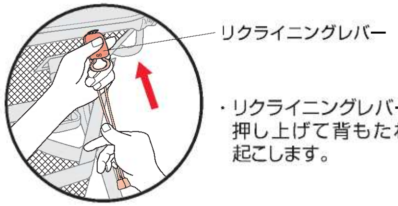


起こす時

❶リクライニングヒモを左右に引く。



〈お子さまの体重が背もたれにかかっている時〉



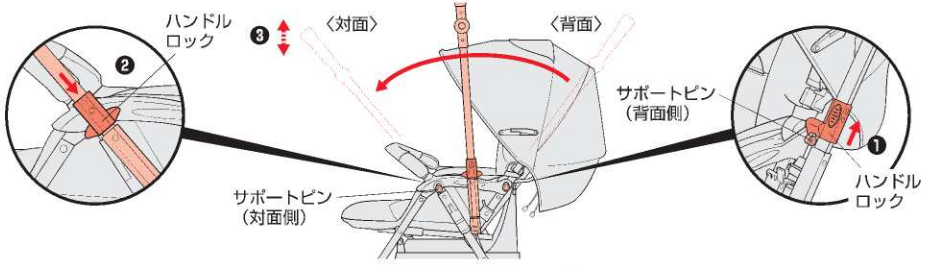
・リクライニングレバーを押し上げて背もたれを起こします。

ハンドルの切替え方

⚠注意

・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをするおそれがあります。
・お子さまが周りにいないことを確認する。
・ハンドル切替えの時は、お子さまの手や指を挟まないように注意する。
・走行中はハンドルを切替えない。
・ハンドルが確実にロックされたか、使用前にハンドルを上下左右に動かし、必ず確認する。

❶ハンドルロック（左右）を引き上げ、背面から対面へ切替える。
❷ハンドルロックをサポートピンにかける。（左右）
❸ハンドルを上下に動かし、ロックされたことを確認する。



・ハンドルを切替えるとキャスターのロック方向が変わります。（P8参照）

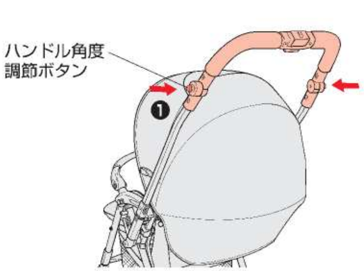
アドバイス
・ベビーカーを折りたたむ時は、背面に切り替える。

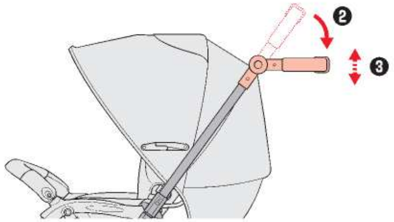
ハンドルの角度調節

⚠注意

・走行中は角度調節の操作をしないこと。
・ハンドルが確実にロックされたか、使用前にハンドルを上下に動かし、必ず確認する。
・ハンドルに大きな力や、衝撃を与えないでください。

❶両手で角度調節ボタンを押し込む。
❷ハンドルの角度を調節する。
❸ハンドルを上下に動かし、ロックされたことを確認する。





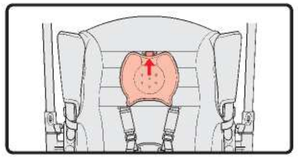
アドバイス
・ベビーカーを折りたたむ時は、ハンドルを起こす。

パッドの取り付け方

⚠注意

・気道閉塞マモールパッドは肩ベルト位置（下段）、リクライニングを一番倒した状態で使用して、サイズが合わなくなった時は、取り外してください。
・肩ベルト位置（中・上段）では使用できません。

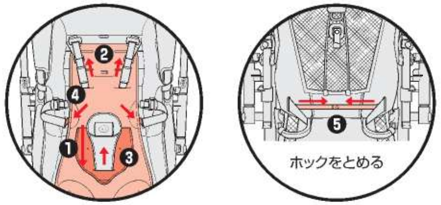
〈気道閉塞マモールパッド〉（別梱包）



●面ファスナーをシートのパッド取り付け穴に差し込み、とめる。

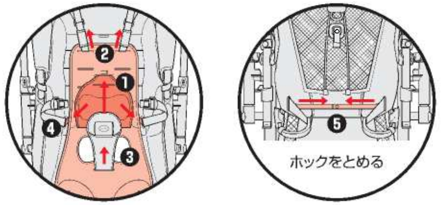
〈脊椎（せきつい）マモール発育シート〉（別梱包）

〈ひとり座りができるまで〉



❶おしりパッドを座面側にする。
❷肩ベルトを通し穴に通す。
❸股ベルトを通し穴に通す。
❹ゴムベルトを腰ベルト通し穴に通す。
❺ホックをとめる。

〈ひとり座りができてから〉

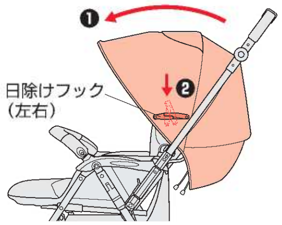


❶面ファスナーをおしりパッドとめ穴に差し込み、とめる。
❷肩ベルトを通し穴に通す。
❸股ベルトを通し穴に通す。
❹ゴムベルトを腰ベルト通し穴に通す。
❺ホックをとめる。

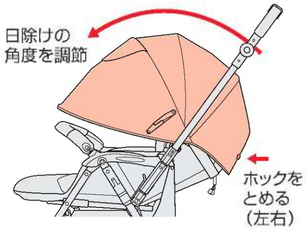
日除けの使い方

開き方

❶日除けを前方に開く。
❷日除けフックをロックする。(左右)

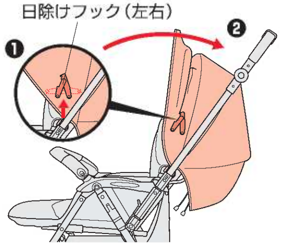


〈リクライニングを倒した時〉



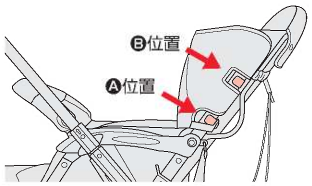
閉じ方

❶日除けフックを折りたたむ。
❷日除けを閉じる。

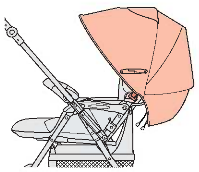


〈高さ調節〉(採用機種のみ)

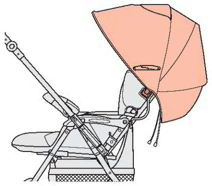
・お子さまの成長に合わせて日除けの高さを調節してください。(P20「日除けの取り外し方」参照)
目安としてお座りしたら🅑位置に上げます。



●日除けの高さを2段階に調節できます。

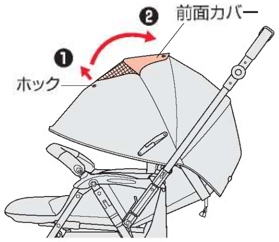


〈🅐位置に取り付けた場合〉

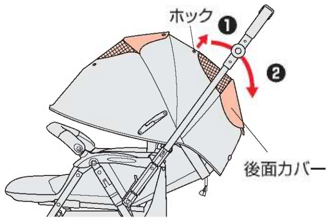


〈🅑位置に取り付けた場合〉

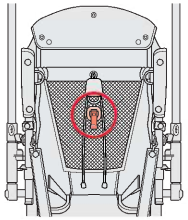
〈前面カバー付きの場合〉(採用機種のみ)



〈前面・後面カバー付きの場合〉(採用機種のみ)



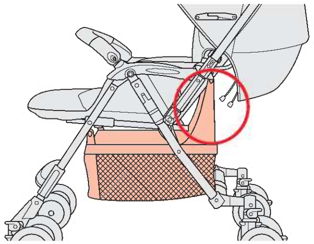
ベンチレーションの使い方



●外の温度や湿度にあわせてベンチレーションノブを上下させてシートの通気を調節します。

カゴの使い方

⚠注意
・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量2.5kg以上の荷物を入れない。

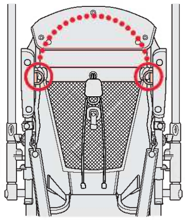


●カゴの上部から、荷物の出し入れをします。

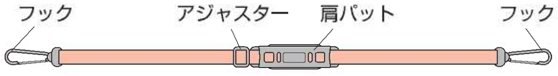
アドバイス
・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

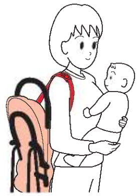
ショルダーストラップの使い方

⚠注意
・車体に付着している油・泥・砂を拭き取ってからお使いください。
衣類に付着するおそれがあります。



●両端のフックを車体の取付部にとめます。



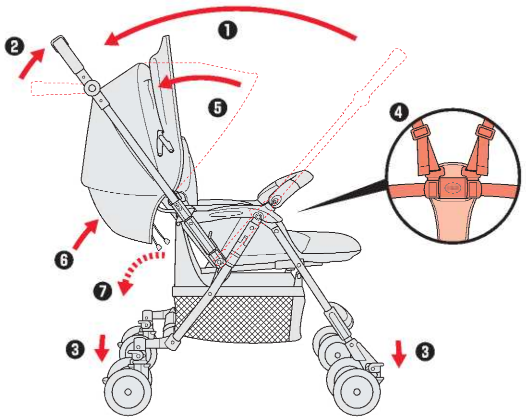


・車体にショルダーストラップを取り付けることにより、折りたたんだ時に、肩にさげて持ち運ぶ事ができます。
・アジャスターで長さが調節できます。

ベビーカーの折りたたみ方

⚠警告　・お子さまが触れた状態ではベビーカーを開閉しない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

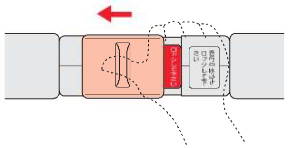
折りたたむ前に



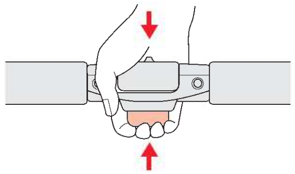
❶ハンドルを背面に戻す。
❷ハンドルを起こす。
❸前輪キャスターを後ろ側に
ロックする。(左右)
❹肩・腰ベルトを股バックルに
差し込む。
❺日除けを折りたたむ。
(P15「日除けの使い方」参照)
❻リクライニングを起こす。
❼カゴから荷物を取り出す。

〈お願い〉
・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。

ロックの解除



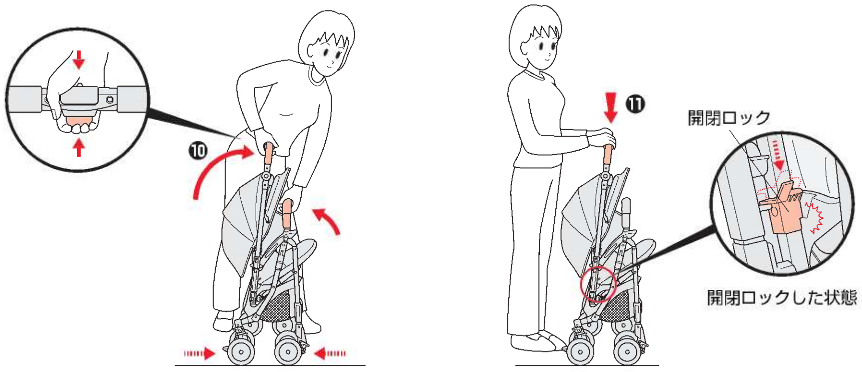
❽セーフティロックを解除する。



❾ハンドルレバーを握って押し込み、
ロックを解除する。

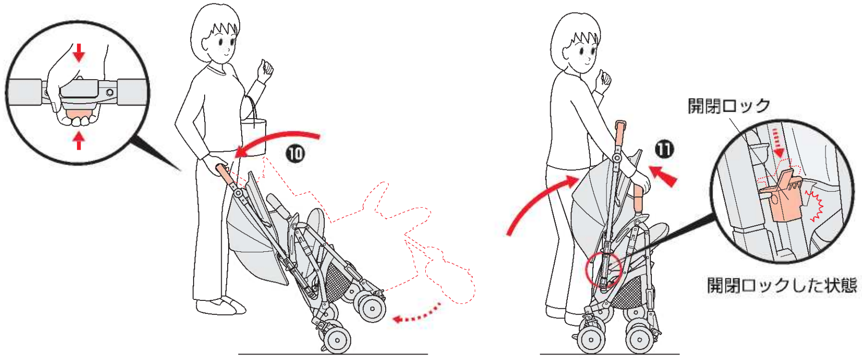
両手で折りたたむ時

⑩ハンドルレバーを握ったまま、もう一方の手でフロントガードを持ち、引きよせる。
⑪ハンドルを下に押しつけてロックする。

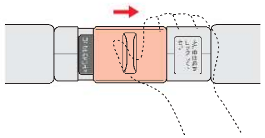


片手で折りたたむ時

⑩ハンドルレバーを握ったまま、車体を後ろに傾ける。
⑪車体を起こし、ハンドルと日除けの間からフロントガードを引いてロックする。



セーフティロックをかける

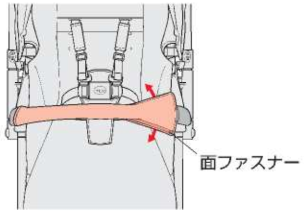


⑫セーフティロックをかける。

縫製品のお手入れ

・縫製品が汚れた場合は、取り外して洗浄してください。
・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、お買い求めの販売店又は、
弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせの上、交換してください。(有償)

フロントガードカバーの取り外し方

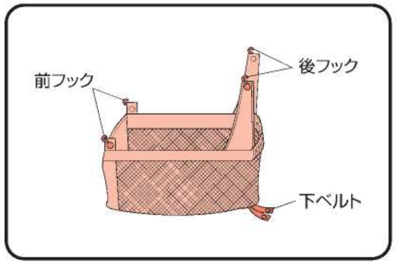


●内側から面ファスナーを
外す。

カゴの取り外し方

⚠注意　・カゴに荷物を入れたまま取り外さない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。

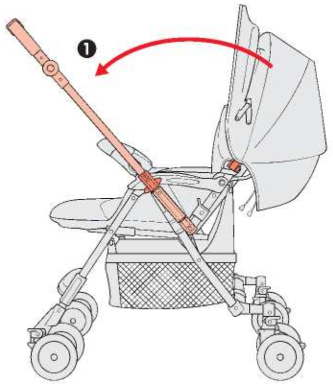
●前後のフックと下ベルトを外して、カゴを取り外す。

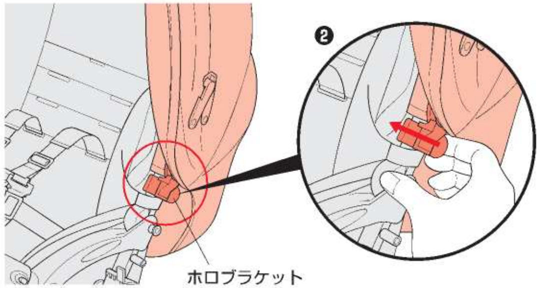


日除けの取り外し方

取り外し方

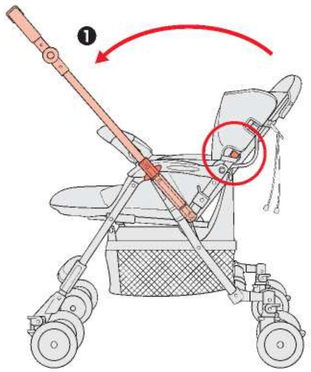
❶ハンドルを対面に切替える。
❷矢印の部分を手前に引き、ホロブラケットを取り外す。(左右)

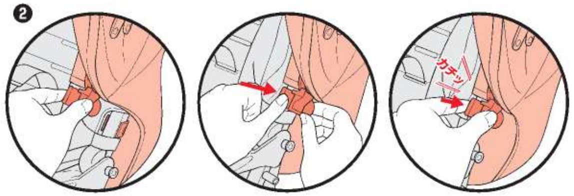




取り付け方

❶ハンドルを対面に切替える。
❷生地を挟まないように注意し、取り付け位置を合わせ奥まで押し込む。(左右)



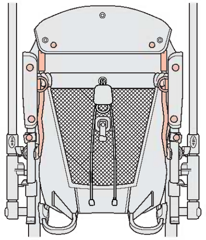


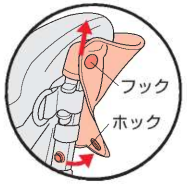
縫製品の取り外し方

股ベルトカバー、股バックル、肩パッド、腰ベルト、シート、背板の取り外し方

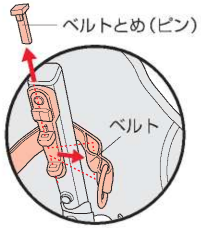
・カゴ、日除けを取り外してから行う。（P19、P20参照）

〈車体の後ろから〉





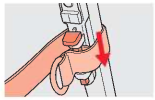
❶ホックを外しフックを上に抜く。

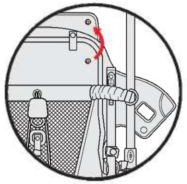


❷ベルトとめピンを抜き、ベルトを外してから再度ピンを差し込む。

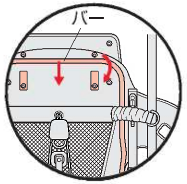
〈取り付ける時〉

・シートを取り付ける時はピンを抜き、ベルトを巻き付け、ベルトとめピンを差し込みます。





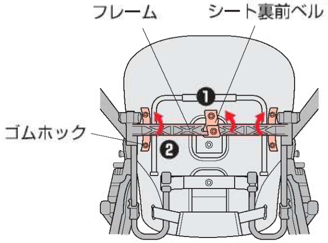
❸シート上部のホックを外す。



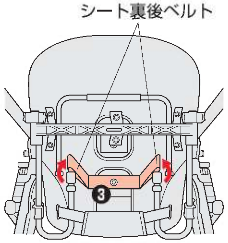
❹ベルトホックを外しバーを下げる。

❺フレームからホックを外す。

〈座面の裏側から〉

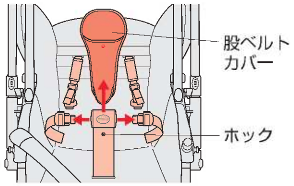


❶ベルトのホックを外し、フレームから抜く。
❷ゴムホックを外す。

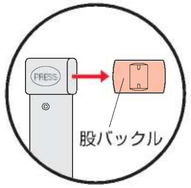


❸車体を少し折りたたみ、ベルトを外す。
❹車体を開く。

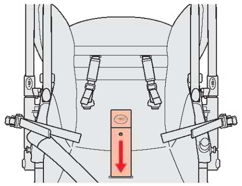
〈股ベルトカバー・股バックルを外す〉



❶肩・腰ベルトを外す。
股ベルトのホックを外し、
股ベルトカバーを抜き取る。



❷ホックを外し、股バックルを外す。

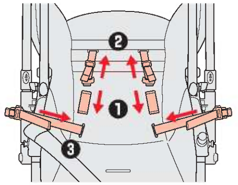


❸股ベルトを座面裏側に抜く。

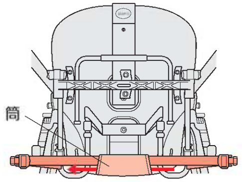
アドバイス

・股バックルは大切に保管してください。取り付け時に必要です。

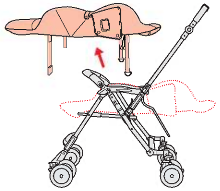
〈肩パッド・腰ベルト・シートを外す〉



❶肩パッドを抜き取る。
❷肩ベルトをシート内側に抜く。
❸腰ベルトをシート裏側に抜く。



❹腰ベルトをシート裏の筒から抜き取る。

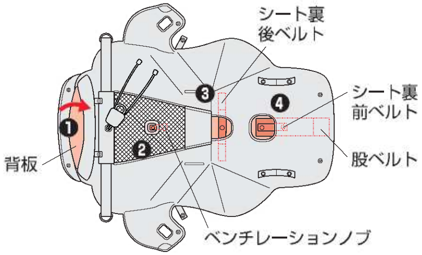


❺シートを取り外す。

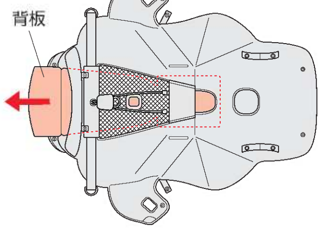
アドバイス

・肩パッドは大切に保管してください。取り付け時に必要です。

〈背板を抜き取る〉



❶シートカバーを背板からめくる。
❷ベンチレーションノブをシートの内側に入れる。
❸シート裏後ベルトをシートの内側に入れる。
❹股ベルト、シート裏前ベルトをシートの内側に入れる。



❺背板（肩・股ベルト）を抜き取る時は注意してください。

⚠注意　・肩ベルト、股ベルトは取り外しできません。

・取り付けは逆の手順で行ってください。

日常のお手入れ

縫製品の洗浄方法

〈シート、フロントガードカバー、肩パッド、股ベルトカバー、気道閉塞マモールパッド、脊椎（せきつい）マモール発育シートの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。

⚠注意
・背板は洗濯しない。
・縫製品を屋外で干すときは、日陰の平干しにする。

〈日除け、腰ベルト、カゴ、ショルダーストラップの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合
40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。
その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

〈合成皮革製品のお手入れ方法〉

・汚れは水また少量の中性洗剤をまぜた水溶液を浸した布で拭きとってください。
一般的に使用されているアルコール・ベンジンは使用しないでください。
・直射日光の当たる場所での放置は避けてください。また濡れた場合はすぐに乾いた布などで拭きとってください。
保管は日の当たらない湿気の少ない場所でお願いします。
・ガムテープ・セロテープを貼りますと表面が剥離するおそれがありますので避けてください。
・使用状況にもよりますが、合成皮革の性質上、数年で湿気、水などにより劣化し、剥離やべとつきなどの傷み、変色などが徐々に発生しやすくなってきます。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームや車輪についた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

⚠注意
・フレームや車輪に泥やホコリが付いたままで使用しない。（故障の原因となります。）
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

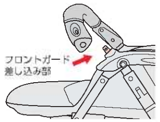
・車輪は消耗品です。タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時はお買い求めの販売店又は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせの上、交換してください。（有償）

〈ネジ・ナット類について〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

〈フロントガードについて〉

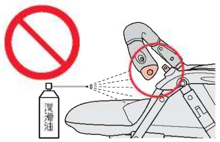
・フロントガード差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。



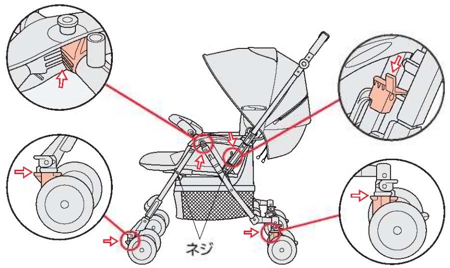
⚠注意
・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービス員の点検、修理を受ける。

〈注油について〉

・注油の前には、泥やほこりを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
・注油は、１カ所につき2～3滴としてください。



⚠注意
・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、潤滑油などを付着させない。フロントガードが外れ、お子さまが危険になるおそれがあります。



●車体を折りたたんだり、開くのがスムーズにいかない場合や、キャスターがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合は、市販の潤滑油を図の ⇨ の箇所にさし、開閉操作を2～3回行います。

困った時に

〈ご使用前に困った時〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある時は	販売店または弊社お客様サポートセンターに連絡してください。 参照 P25「保証とアフターサービスについて」

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
ハンドルレバーを握って押し込めない時は	セーフティロックを解除してから行ってください。 参照 P7「ベビーカーの開き方」
キャスターが回転しない時は	キャスターロックを左右共解除してください。 参照 P8「キャスター」
	キャスターに潤滑油をさしてください。 参照 P23「注油について」
ストッパーがきかない時は	後輪のストッパーを左右ともロックしてください。 参照 P8「ストッパー」
リクライニングが起こせない時は	起こす時はリクライニングヒモを左右に引いてください。 参照 P12「リクライニングの角度調節」
腰ベルトの取り付けができない時は	股ベルトの内側にバックルが取り付けてあることを確認してください。 参照 P22「股バックルを外す」 紛失した場合は販売店または弊社お客様サポートセンターに連絡してください。参照 P25「保証とアフターサービスについて」
ハンドル切替えができない時は	左右のハンドルロックを解除してから切替えてください。 参照 P13「ハンドルの切替え方」
フロントガードが差し込めない時は	フロントガード差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。 参照 P23「フロントガードについて」
肩ベルトが腰ベルトに差し込めない時は	肩ベルトを腰ベルトに差し込み、股バックルに差し込んでください。 参照 P9「肩・腰ベルトをとめる」
ショルダーストラップの取り付けができない時は	左右のフックを車体背面の取付部にとめてください。 参照 P16「ショルダーストラップの使い方」
ベビーカーが折りたためない時は	〈折りたたむ前に〉、〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。 参照 P17「ベビーカーの折りたたみ方」
カゴが取り外せない時は	前後のフック（左右）、下ベルトを取り外してください。 参照 P19「カゴの取り外し方」
タイヤが消耗した時は	タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は交換してください。 参照 P23「フレームや車輪のお手入れについて」

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
クラック（ひび割れ）や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

・解決しない場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P25参照）

保証とアフターサービスについて

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（P6参照）をご確認のうえお買い上げの販売店または、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター　**TEL 0120−415−814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）　**TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎(0743)84-2050

保管のしかた

・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
（地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）

SGマーク制度について

SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。但しご購入後４年以内です。

賠償についてのご注意
・認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。
あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について
・傷害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2−20−2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03−5808−3303

〈事故賠償に必要な項目〉
①事故の原因となったＳＧマーク表示の製品
イ）製品の名前、ＳＧマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）